

金持ち脳と貧乏脳・脳とお金のただならぬ関係

茂木健一郎 総合法令出版

(はじめに) 「お金持ちや成功者に共通する脳の使い方」と「お金がなかなか貯らない貧乏な人の脳の使い方」があります。世の中の成功者達は、ほぼ例外なく金持ち脳、貧乏脳は給料が入ると飲みに行く、衝動買いするその場だけの満足しか残らない。どの様な脳の使い方をすれば金持ち脳の持ち主になれるか、お話していきます。人が貯蓄するのは「自分の未来は明るい」と思っているからです。ある程度の蓄えがあると人は安心して積極的な行動もとれるようになるのです。

{ 第1章 誰も知らなかった脳とお金のただならぬ関係 }

- * **金持ち脳と貧乏脳の決定的な違い**～金持ち脳とはお金を増やすことを考えている脳で、貧乏脳とはただお金を使う事しか考えていない脳です。 お金持ちになった人は自分の成長の為に自己投資を怠らず10年・20年先を見据えて普通の人より必死に努力した人で本を読み漁り、成功者のセミナーや講演会に積極的に参加し、勇気を持って人脈を構築し、自分の価値と評価を高め自分磨きに邁進してきた人達です。
- * **金持ち脳の特徴**～◎人間関係が幅広い ◎自己投資にカネを惜しまない ◎好奇心が旺盛 ◎誰に対しても自分の知らない事を素直に質問できる ◎人の話を聞いて即行動できる ◎人の良い部分を直ぐに真似する事が得意 ◎偏見が少ない ◎判断基準として「まず何でもやってみる」という考えを持っている ◎夢や目標がはっきりしている ◎朝型で健康に気を配り、体を大切にしている
- * **貧乏脳の特徴**～△イザという時に頼れる有人・知人がいない △他人の意見や行動に流されやすい △与えることより、貰う事ばかり考えている △常に受け身で被害妄想に駆られてしまう △でも、だって、どうせが口癖 △気が付くと愚痴をこぼしてる △嫌なことはいつも先延ばしにしている △目先の利益だけをつい追いかけてしまう △夢や目標を掲げるのが苦手 △不健康で体のケアをあまりしない
- ～ **生まれ持った素質や才能ではなく改善する事で金持ち脳になる道が拓けます**～
- * 一度でも金持ち脳を持ってしまえば永久不滅の救世主となり幸せな人生を送る心強い武器となる。そこで「どのような10年後だったら自分は幸せか」「いくら稼いでいれば自分として成功か」という事をワクワクする気持ちで考えてみる事。
- * **借金と脳に必要なリスクテイク**～地道にヒットやバンドを狙うか、場外ホームランを打つ人は空ら振りも沢山している、そこで必要なのは確実性と不確実性のバランスです。
- * **貯蓄と脳の関係**～貯蓄が意外と少ない人は比較的自分の周りの人間関係や社会的なネットワークが上手くできていると安心している。

貯蓄しないと不安だという人達は、それだけ脳が自分の周りの人間関係や社会的なネットワークが不安定だと感じている証拠なので貯蓄が安全基地として必要になる。

* 脳が作りたがる安全基地とは～人間関係、信頼、自分のスキル、知識、経験等が総合的に安全基地となって確実性が生まれ、その分不確実性を積み増せることができる人が一流と呼ばれ、金持ちの特徴です。

* 消費行動は社会に於ける存在意義の確認でもある～自分を確認する必要のない人は買い物でストレスを発散する、お金を消費する、という強い関心を持たない。

* 若い内のお金は経済という活動に使うべきである～堀江貴文さんは本の中で「**お金は稼ぐ事よりもそのお金で自分は何がしたいのかが重要だ**」と、私の場合で言えば「とにかく経験に使う」というポリシーがあります、極端に言えば「墓場に持って行ける幸せ」という事になる、つまり、脳の中に残るものにお金を使うという事。お金持ちである事の一歩の特権は「人生の選択肢が広い」という事だと考えています。

脳科学者の立場から云えるのは「**経験以外に人間が持ち運べるものはありません**」

* 上手なお金の使い方が仕事に生きる～幅広くいい仕事をしている人は「**大好きで得意な事をとことん追求している**」

{ 第2章 人間の経済活動は全て脳が支配している }

* 脳は自分にとって嬉しいものを報酬と捉え、その報酬をより得られるような行動をする。食べ物や異性は生物としての具体的な報酬。抽象的な報酬の一つが「お金」とか、社会に於ける評判とか、誰かに認められるという評価で、この様な抽象的な報酬にも脳は喜びや快感を得て、ドーパミンの様な報酬系の神経伝達物質を出します。

* 本当に「生きたお金の使い方」が出来ているか～子供の頃から聞かされていた体験が、その人のお金に対する考え方や価値観になっている事が多い。「自分は貧乏だ」と思う人は、やはり心もネガティブになって、そういう人の所にはお金や人が集まらないというスパイラルがある。

* **お金があれば何でも解決するか？**～人間の幸せや人生観というものは複雑系なので、お金では測れないものです。頭の良さもその人の性格とか偏差値で測れないと同じ。お金だけを目当てに割り切っている人間関係は楽しくもなく長続きしません。

* 脳科学でお金と幸せの関係を考えてみる～自分の収入が1割上がってもそれで幸せと感じる人は意外と少なく、年収が4～9百万円迄の人の幸福感もあまり差はない、逆に1千万円以上になると幸福度は下がる、との調査があります。

イースタリン・パラドックスという有名な幸福経済学の研究で、第二次大戦後に急速な発展を遂げた日本に於ける生活に関する満足度は低下している、との調査結果。米国の国民も貧しい人はお金により幸福感は増すが年収7、5万ドルの中流に達すると、幸福感はあまり増えない。

* 人間の本質的な幸せは、お金によって得られるものではない

～ある程度のお金を稼いである程度経験して、その上で「ああ、お金だけで幸せは買えないんだ」と思えたら、それは素敵なお事です。

* それでもなぜ人はお金を追いつけるのか？～「生きたお金の使い方をする」ことが自分の幸せにもつながる、と脳のメカニズムで説明されている。

* 生活の為に稼ぐ意識は、心を貧しくしてしまう～人はお金を手にすると、次に名誉を求めます。私は理系でそれなりに成績がよく皆から医学部に行け、物理なんかやっても絶対に飯が食えないぞ、貧乏だぞ、と散々脅された、結局、自分のやりたいことをやっていた方が結果として、お金もついてきています。

* イギリスで学んだ「資本」の重要性とは「資本があるからこそ思い切り挑戦できる」という事です。又、お金だけでなく知識や経験、スキルも又「資本」となるのです。

有形無形の財産や人との関係等多くのものが資本として私達の挑戦を支えています。

* なぜ、ユダヤ人にお金が集まるのか？～発明家のエジソン、物理学者のアインシュタイン、映画監督のスピルバーグ、画家のピカソなどユダヤ系、マイクロソフト、マクドナルド、コカ・コーラ、GMなど多くの有名企業がユダヤ系。

ユダヤ人は父親が徹底して「子供に商売の方法を教える」更に発想法が「振り子の発想」両面思想とも呼ばれ「片方の側面から考えを出発させたなら、その考えを逆に振ってみる」これを何度となく反復すると、思考が深みを増していくことになる。

* アメリカのIT長者たちが変えた、お金持ちの価値観～エグゼクティブが集まるパーティで一人だけTシャツにジーンズとスニーカーとラフな格好のリンクトインの創業者兼会長(2003年にサービス開始10年で登録ユーザー世界中で2、3億人)フェイスブックの創業者のマーク・ザッカーバーグもパーカーでしか記者会見に現れない。

～日本では村上太一27歳で150億円の資産にも拘らず凄く質素で8畳一間冷蔵庫もない環境で生活、最近のお金持ちは見栄やプライドに余計なものは決して使わない。

米国の大学で運営されているMOOCという教育システムはウェブで基本的に無料。

如何に有益な情報を手に入れるか、そして、その情報をいかに金に換えるかが重要。

{ 第3章 景気は脳に左右される }

* 貯蓄がないと脳のバランスが保てない～ポルトフォリオという感情システムは大人になるにつれ自分自身の経験や知識、そして貯蓄等の十分な「確実性」の要素が増えるほど「不確実性」=挑戦を積み増していくことが出来る仕組みになっている。

* 投資に必要な「雑食性」の脳～脳は不確実性に直面した時に一種のリスクヘッジを行う、投資先をリスクの高いものと低いもの、リターンが多いものと低いものへ分散。

* 自分の人生でイノベーションを起こすことを意識する～グーグルのウェブ広告は正にイノベーション、アップルも“iphone” や“ipod”これもイノベーション。日本では稀に見る企業 LINE(ネット上の無料サービスから収益を上げる)世界的なサービスに成長した森川昭亮社長はリリースして2週間位でこれは勝ったと思った、

日本では4,7千万人、世界のユーザー数は2,3億人)

今話題の東進ハイスクールも一つのイノベーション＝数の限られる人気講師を衛星で同時通信してより多くの学生に届ける。

- * 人の気分を動かせば景気も動く～病は気から「景気は気から」脳に根拠のない自信を植え付けることによってアベノミクスは世の中の操作が極めてうまくいった、日銀に対して「輪転機でお金をドンドン刷れ」そのイメージが人々の頭にビビッとできた。
- * アベノミクスは特効薬か？それとも劇薬か？～脳科学的立場から云えることは、正に今の気分を変えた「景気が良くなるかもしれない」というものに変える事に成功した。大学生の就職先も東大・早稲田の学生達が創業2～3年のベンチャー企業に就職を決める等、時代の変化を感じます。規制緩和は一長一短で不均衡をどうするか、一番の課題で、脳とお金の関係を考えて時、やはりバランスが凄く大事です。
- * メンタリスト・DaiGoさんから聞いた、景気を動かす仕掛け～事例としてメンタリストがドイツの連邦議会議事堂の放火を予言、実はナチスの自作自演この事件がキッカケでナチスが政権を取る決定打になった。

{ 第4章 お金を生み出す人間関係の作り方 }

- * お金は人間関係を目に見えるようにしたもの～人間関係にお金を惜しむような人は、決してお金持ちになれない、一流の成功者やお金持ちの人は人間関係に使うお金がいずれ自分に跳ね返ってくることを知っている。
- * お金持ちの人間関係の本質～人との関係が広がれば広がる程、そこに使ったお金以上に「幸せ」や「成功」が増えていきます。無料のセミナー等は役に立たない。
- * お金持ちの人間関係を築く上でのお金の使い方～自分が好きな事で感動できるような体験にお金を惜しまず使う。又他人を喜ばす事にも自ら喜びを見出す。
- * お金は節約しても、人間関係は節約してはいけない～お金持ちの周りに何故お金持ちが集まるのか、お金持ちになれば自分の好奇心や向上心を満足させるような人間関係をつくり、そこに無意識に自己投資でき、自己の人生の選択肢が増える事になる。
- * お金持ちは良い人間関係を構築している～「付き合う人を選ぶ」自分の為になる人と付き合い、自分が成長する為に人間関係をつくるのが大切だという事。
- * 「自分が先に与える」ことが大切～お金持ちは相手の事を理解するスキルが非常に高い、相手が望むことを与える事が出来れば人間関係は間違いなく改善されます。その為には常に前向きな言葉を意識して出し、相手の長所を見つける努力をする事。

{ 第5章 お金持ちは皆、脳の使い方が上手な人 }

- * お金持ちに共通する脳の使い方は「動かざること山のごとし」～お金の出し入れの基準をしっかりと持っている。相手を徹底的に観察するところに秘密がある。
- * 「直感」を鍛える～何度も挑戦を繰り返したり、

失敗を重ねながら試行錯誤していくことでガットフィーリングは鍛えられ、高度な判断や意思決定が出来るようになる。米国のシリコンバレーでは一度会社を倒産させた人はより多くの投資がえられるという話。

- * 成功者が持ち合わせている「**根拠のない自信**」～ケンタッキー・フライド・チキンのカーネル・サンダースは 60 歳過ぎてから試行錯誤の末にケンタッキーのマニュアルを作り何と千回以上も断られた末に採用される所を見つけて大成功したエピソードがあり「失敗を恐れず挑戦する」
- * 人生の経営判断に大切な事～常にオプションをもう一つ持つておくという事です。家を買うにも戸建てかマンションかどこの沿線で駅からの距離はそれとも賃貸か等。中国人は「中国本土に住み続けるか、或いは海外に移住するか」常に考えている。
- * 戦国武将の命を懸けた大投資～どの大将につくかで自分や家族の生死、うまくいけば領地がもたらされた。江戸時代の士農工商の身分制度が出来上がり、現在の日本の基本的なメンタリティが作られた、しかし明治維新で幕末の志士たちは倒幕運動に投資そのリターンは薩摩や長州の人達が新政府の高官となって見返りを得た。
- * **投資や経営判断と無縁な人は、この世にはいない**～お金持ちや成功者は常に新しい挑戦に脳を使っています。恋愛は男女にとり自分の人生や時間を費やす大投資。時間を使う、学校に行く、仕事する等も投資であり無縁な人はこの世にいない。
- * 自分の人生に戦略があるのかを考えてみる～戦略をきちんと考えていない人や国の文化は発展しないというのが非常に厳然たる事実だという事です。**戦略の凄い所は国家では絶対に手の内を明かさないう事で、明かした時点で戦略ではなくなってしまう。**
- * お金持ちは真心と戦略を兼ね備えている～アップルのスティーブ・ジョブズは多くの人に使いやすいパーソナルコンピューターを届けたい、或いは素晴らしい経験を人々に与えたいという真心があった、その一方でジョブズは戦略家で商品発表迄の情報管理を徹底させ新商品発表の時の期待がピークになるように使い分けていた。
- * 白洲次郎のプリンシプルな脳の使い方～連合軍占領下の日本で吉田茂の側近として活躍、GHQと堂々と渡り合い「**従順ならざる唯一の日本人**」等の評価を得た生き方は正に人生の経営判断の素晴らしさに満ち溢れています。有名なエピソードは昭和天皇のクリスマスプレゼントをマッカーサーに届けた時に「その辺にでも置いてくれ」に激怒し「仮にも天皇陛下からの賜りものをその辺に置けとは何事か」と怒鳴りつけ、そのプレゼントを持って帰ろうとしてマッカーサーを慌てさせた。他力本願の乞食根性を捨てよ！イエスマンを反省せよ！八方美人が多すぎる等本音をズバリ。

{ 第 6 章 実践！お金持ちになる脳の使い方 }

- * 給与所得を維持しながら、事業所得も得るといふ働き方～会社での経験や能力、或いは子供の頃からの夢等自分の人生で得た能力を棚卸すれば「種」は必ず有る。
- * 仕事に対するイノベーションが、お金を生む力を育てる

～私が理化学研究所で科学者をやっている時に支払調書は1枚だけ、現在は毎年2百～3百枚それだけ多くの人と関わっている、**収入はどれだけイノベーションを起こすことが出来るかの結果。**

- * 脳が感じる「ワクワク感」の共感回路の強化が、**お金を生む!**～面白い実験で凄いイケメンと普通の人と同じ食べ物を売る時にイケメンは笑わず無表情で売り、普通の人笑顔で売っていると、笑顔で売っている人の方に人は列を作る。人は相手の感情が移るのでニコニコ笑っている方が幸せに感じる共感回路の働きによるもの。
- * 金持ち脳は、自分の好きな事をお金に変えられる～ごく普通の人でもお金を上手に稼いだり溜めたりする人は自分と向き合う事で、現金から未来に向けてどれだけのお金を必要としていて、将来どうなりたいかをしっかり考えている人のようです。攻めの貯蓄をする事と、今の延長線上で好きな事で稼ぐ事を考えていけばいい。ベンチャーでも外部のネットワークを使えば収益を確保できる新しい可能性が出てきた。
- * ウイークタイ(弱い結びつき)がイノベーションを起こす～ちょっと離れた人、全く違う分野の人と仕事する事で脳は「ワクワク感」を演出し新しいお金を生み出す可能性も
- * **お金に対する感覚を高めるトレーニング**～大きな資産を築いてきた成功者の共通点の一つは身体的な強さが心の強靭さを支えている、そのメリットは
 - ◎沈着冷静で平常心を保つことで論理的思考が身につく
 - ◎イザという時の選択や決断を誤らない判断力が身につく
 - ◎自分の体験やイメージを正確に蓄える事が出来る記憶力が養われる
 - ◎自分が逆境に於かれても粘り強く前向きに考えるポジティブ思考が身につく
 - ◎エネルギーッシュでアクティブな行動が芽生える＝脳のセルフコントロールが高まる、脳の注意システムが活性化しストレスから解放されやる気と集中力を高めてくれる。
- * お金がいくら儲かったかはというのは、結果でしかない～企業側にとってお金だけでなく、従業員の働き甲斐を考えて仕事の設計や職場のあり方を追求する事が大事。
- * 仕事の満足度はお金で買えない～いつの時代でも人材育成は経済成長戦略の核。アニメーターや芸術家等は貧乏でもやり甲斐に対する満足度が高く、脳は不幸やストレスをあまり感じない、東京芸術大学では、例えば油画専攻は50倍の狭き門。仕事の満足は決してお金では買えない面白さや、やり甲斐は自分で決めるものです。

{ 最終章 脳内イノベーションでお金を生み出す秘訣 }

- * アイデアをお金に変えられる時代～米国でベンチャーがこれだけ成功している理由の一つは、アイデアにお金を出す投資家が多い事、正にアイデアをお金に変えられる時代だと言える。学歴優先、或いは一流企業ブランドに頼ってしまうと、もし会社が傾いたり、リストラされる時にどう対処するのでしょうか。
現代でお金を生み出すもの、それは個人や企業の発想力つまりアイデアなのです。
- * 世界のアイデアが飛び交う、極上のカンファレンス「TED」

- アイデアが通貨になる事に気付き最初に実践したのはTED(米国のロングビーチという場所で年1回世界のアイデアが一堂に会する大規模な講演会で様々な分野の著名人がプレゼンテーションを行う)2006年からインターネットで無料動画配信中。一人のプレゼンターに与えられる時間は5~20分程度で綿密に準備されてとても有益。
- *「ビットコイン」を発明した謎の天才日本人の正体~世界各国の政府の規制を受けず極めて低コストで取引が行え、一部では正に世界を変える通貨的な存在ともいわれ、この発明者は望月新一(16歳で米国プリンストン大学入学、19歳で数学科卒業、23歳で京大助手32歳教授という天才)と米国のコンピューター学者が驚きの発言。この望月さんは解明迄3百年以上要したフェルマーの最終定理でも、これを即座に解明でき、欧米では彼の驚異的な偉業になるだろうと興奮気味に伝えられている。
 - * ついに語学力をお金に換えられる時代がやってきた~私の見る限り英語の情報で見るべきものの内日本語に翻訳されているものはせいぜい百分の一もない位です。翻訳ビジネスは高コスト体質、もし自分が英語を理解できるようになれば、ほぼ無料に近いようなコストで最先端の情報に接する事が出来て、メリットは計り知れない。
 - * 日本人が最も苦手とする英語のアウトプット~現在、日本のコンテンツ産業や伝統文化を紹介し海外から日本への観光誘致等売り込むクールジャパン活動が積極的、その為にもドンドン英語で発信していくべきで「相手に理解してもらおう」メリットもある。このマーケットは正に手つかずの分野「ブルーオーシャン=広がる大海原」です。
 - * 日本の教育に必要な破壊的イノベーション~今の大学の産業構造は既得権益の渦中で進化・革新が完全に止まっている、大学は学業以上に人間力を養う場でもある米国のハーバード大学では世界中の金持ちが師弟を送ろうとしていて学費は4~5百万円と凄く高いが、それだけの見返りもあり、ハウスという制度があり国籍・家柄に関係なく寮の中で学生が生活し、寝食を共にしながらいろいろと議論している、その経験価値、更には密度の高い人間関係が構築できる。
 - * ギャップイヤーによるイノベーション~日本の大学ランキングは入試偏差値で決まり、英国は教育に歴史と定評がある「タイムズ」が毎年秋に発行する高等教育情報誌の大学ランキングでは入試偏差値を見ていません、大学での教育、研究、社会的な貢献度と云った「質」を見ている。つまり偏差値を廃止し4年間で大学が勝負する時代が日本に来れば、それはイノベーションだということです。又、ギャップイヤーは英国の大学教育制度の習慣の一つで入学資格取得した学生が社会的見分を広める為、入学迄の1年間猶予を与えられ外国に出掛けたりボランティア活動を行える。日本の学生は大学について単位を取って就職する為の方便と考える人が多すぎる。
 - * シェアハウスに学ぶイノベーション~バスもトイレもないのに満室、ほとんどが社会人で色んな業種の人と一緒に生活、初期の頃は外国人が中心で今は急速に日本人に広がっている。異業種交流や友人との交流があり様々な情報や英知の共有が行われている。

シェアハウスはITのみならず企業支援にはもってこいのイノベーションなのです。
大学にシェアハウス側がノウハウを提供すれば凄い大学ができるはずですよ。

(おわりに)

あなたの脳が豊かで明るい未来を創る！～私がこれまでの人生で最も大きな決断をしたことは大学で法学部に進んだという事かもしれませんが、また、脳科学の研究に移ったのも大きい決断でした。当時の脳科学は全く流行っていませんで、これほどのブームになるとは思ってもいませんでした。このような**人生の大きい選択や決断は全てが自分の経営判断になってきます。「自分には他の可能性はあるあるけれども、今これを選んでやっているんだから、今はこれを悔いのないように一生懸命やろう」**という事で人生が輝く瞬間が訪れるわけです。スティーブ・ジョブズの言葉にもあるように**「もし、今日が最後の日だとしたら君がやろうとしている事を今日君はやるか」**という事も考えてみる事です。自分が学びたいことは何か、自分の偏差値だけで大学を決めるのは選んでいることにならないのです。

脳と云うものは、意識的に「選ぶ」という事を繰り返すことで一番鍛えられるのです。

(完)